

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	RED REVOLT		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：RED REVOLT

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：COVERT REVOLT

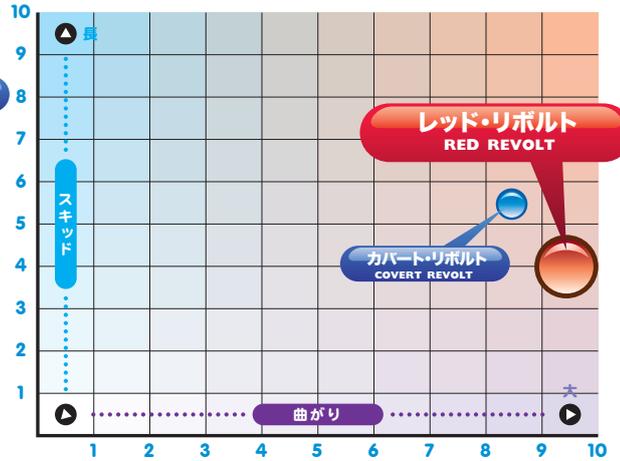
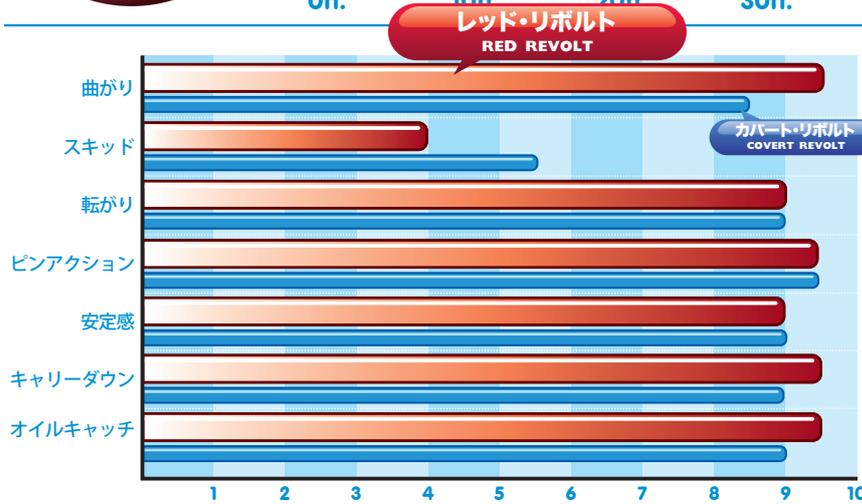
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Covert REVOLTは昨年の2月から再販を繰り返し、今をもってなお新規購入または使い続けているユーザーは多いことと思います。そのCovert REVOLTに新たなREVOLTがリリースされます。それが今回のRED REVOLTです。

RED REVOLTはREVOLTと同じTurmoil HFS (High Friction Solid) cover stockを採用し、Coreは同等にVanquishです。変更は配色のBlack SmokeからRed Smokeへ変わり、表面加工も4000 Grit Laser Scan Sandedから3000 Grit Laser Scan Sandedに変わりました。私たちABSボール開発チームはREVOLTの曲りやイメージをそのままに、よりオイルに対しての強さと曲がり始めの安定感をこのRED REVOLTに求めました。RED REVOLTは配色から表面加工に至るまでABS監修のInternational製品です。投球したイメージは、Turmoil HFS cover stockは同じですが、表面仕上げの4000 LSSなのか3000 LSSなのかの差は非常に大きく、RED REVOLTの3000 LSSは手前からしっかりと噛むというよりは、ミッドレーンでの起き上がりから曲りの強さがCovert REVOLTよりさらに強くなっていて、キャリーしたオイルに左右されるイメージは全くありませんでした。これだけミッドで強いパワーが加わっているので、ピンヒットまで動きが減少しそうですが、その心配は全くなく、REVOLTらしい強さと相変わらずの柔らかく低いピンアクションを魅せてくれます。これぐらいCovert REVOLTとRED REVOLTとの差があればこの二つ持ちでheavyからmediumまでのコンディションはほぼモータースで済みます。それほどREVOLTの曲がり方やアクションを気に入っている方には朗報とも言えるのではないのでしょうか。

特記事項

日本独自のInternational製品ですので個数限定です。
即日完売のおそれがありますので、お買い求めはお早くお近くのショップまで。